

修学貸付 記入例

(表面)

借入状況等 申

全てについて、必ず「有」「無」どちらかに○をつけてください。

1. 借入状況

※他の金融機関等からの借入状況の有無について、必ずどちらかに○印をしてください。

住宅金融支援機構	有・ 無	銀行	有 ・無	その他公庫	有・ 無	労働金庫	有・ 無
信用金庫	有・ 無	信用組合	有・ 無	消費者金融	有・ 無	信販会社	有・ 無
地方公共団体による住宅融資等	有・ 無	互助会	有・ 無	個人	有・ 無	その他	有・ 無

※上記で「有」に○印したものについて、以下に記入してください。

他の金融機関等からの借入状況記載欄									
借入先	既借入分					新規借入分			
	借入日	借入額(万円)	現在の残高(円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)	借入日	借入額(万円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)
〇〇銀行	H22.1.1	2,500	21,670,840	54,231	90,759				
賞与分の記載漏れにご注意ください。また、書類によっては、毎月分と合算額の場合がありますので「ボーナスの償還額(円)」には賞与分のみを記載してください。					今回貸付分の修学貸付が償還据置し、かつ同一の子(同一学校)の既貸付も据置している場合は、「新規借入分」として、今回貸付分と据置している既貸付分を合算し、借入額及び償還額を記入してください。また、据置期間中であっても、元本分の償還を行っているものとして記入してください。				
計				(A) 54,231	(F) 90,759			(B)	(G)

共済組合からの借入状況記入欄									
貸付種類	既借入分					新規借入分			
	借入日	借入額(万円)	現在の残高(円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)	借入日	借入額(万円)	毎月の償還額(円)	ボーナスの償還額(円)
住宅貸付	H22.1.30	500	3,628,810	11,417	68,617				
修学貸付						R1.5.30	220	15,674	31,293
貸付を受ける月の末営業日の前日です。									
計				(C) 11,417	(H) 68,617			(D) 15,674	(I) 31,293

毎月の償還額 (A) + (B) + (C) + (D) = 81,322 円 (E)

ボーナス償還額 (F) + (G) + (H) + (I) = 190,669 円 (J)

2. 給料月額に対する毎月の償還額の割合

毎月の償還額 (E)	給料月額 (K)	貸付申込月の正規勤務時間 (X) *	貸付申込月の休業予定時間 (Y) *	割合 [E ÷ (K × (1 - (Y ÷ X))) × 100]
81,322 円	388,300 円	時間	時間	20.94%

* 貸付申込月の正規勤務時間 (X) 及び貸付申込月の休業予定時間 (Y) は、部分休業中の場合に記入してください。

部分休業等により給料が減額されている場合は、記入してください。
 小数点第2位まで記載してください。(第3位以下切捨) この欄が30%を超えると申込みできません。

3. 年収額に対する年間償還額の割合

年間償還額 {E × 12 + J × 2} (L)	年収額 {K × 12 + K × 4} (M)	割合 [L ÷ (M × (1 - (Y ÷ X))) × 100]
1,357,202 円	6,212,800 円	21.84%

※年収額 (M) に対する年間償還額 (L) の割合が、30%を超える場合は、貸付ができません。

※部分休業中の場合は、減額後の年収額 (M × (1 - Y/X)) に対する年間償還額 (L) の割合が、30%を超える場合は、貸付ができません。

私の借入状況は上記事実に相違ないことを申告し、以下の事項について同意します。

- この申告について、所属所長が調査及び証明すること。
- 裏面の記入上の注意を確認し、これに従うこと。
- この申告と相違する場合は、共済組合の即時償還命令に従います。

※ 共済組合での訂正はできませんので、誤記入の場合は、差し替えとなります。

令和〇〇年〇〇月〇〇日
 栃木県市町村職員共済組合理事長 様

所属所・職名 〇〇〇市役所
 組合員証記号番号 〇〇〇-〇〇〇〇
 申込人氏名 共済 太郎

実印で押印してください。